

April 9 & 10, 2016  
at VanDusen Botanical Garden  
#SDJF



# Sakura Days Japan Fair

## バンクーバーの春を彩る盛大なお祭り

4月9日、10日の2日間にわたって、バンデューセン植物園で恒例のSakura Days Japan Fair (SDJF) が開催された。両日合わせて、約一万人もの入場者が訪れ、日本の文化、芸能、食べ物を楽しんだ。



コスモスセミナーによる浴衣着付け体験コーナーは大人気



ゲストスピーカーによる鏡割り。(左から)バンクーバー・パーク・ボード委員のキャサリン・エバンスさん、在バンクーバー日本国総領事代理の内田晃首席領事、VCBFエグゼクティブディレクターのリンダ・プールさん、ジャパンフェア実行委員長の塚本隆志さん (Photo by Miyuki Nakamura)



ビジターセンター内に並んだベンダーにもたくさんの方が訪れていた



バンクーバー日系ガーデナーズ協会によるヨーヨーつりが子供たちに人気



北の家 Guu によるクッキングクラス。30人分の席はすぐいっぱい



建友会による風車づくり体験コーナー。大人のほうが真剣に取り組んでしまいそう!

### 多くの人が楽しみにするイベントへ

午前10時の開場に合わせ、バンデューセン植物園に続々と人が集まってきた。ことしで7回目を迎えるSDJFは、日系コミュニティ最大級のイベントだ。これは、ジャパンフェア実行委員会 (JFAV) と Vancouver Cherry Blossom Festival (VCBF) の共催で行われており、バンクーバー各所で桜を楽しむ企画を運営するVCBFの中でもメインイベントの一つといえるだろう。

9日午後12時からオープニングセレモニーが行われた。司会は大和奈緒美さんが務め、VCBFエグゼクティブディレクターのリンダ・プールさん、バンクーバー・パーク・ボード委員のキャサリン・エバンスさん、在バンクーバー日本国総領事代理の内田晃首席領事、ジャパンフェア実行委員長の塚本隆志さんが挨拶に立った。続いてゲストスピーカーによる鏡割りが行われた。

ことしのジャパンフェアについて、内田首席領事と塚本さんに話を聞いた。「日本人だけでなく他の人種的バックグラウンドを持つ方々に、日本の文化などへの親しみを持ってもらえるのが、このイベントの目的だと思います。

今回、バンクーバー・パーク・ボードにも多大な協力をいただいております、認知度が高まっているのを感じます。これからも恒例の祭りとしてみなさんが楽しめるものであってほしいです」(内田首席領事)

「ことしは和太鼓、津軽三味線、奄美の島唄の方に出演していただきます。昨年からは『和の音楽』を紹介する企画は、これからも続けていきたいです。また、和太鼓と先住民のアーティストたちとのコラボ、書道と和楽器のコラボなど、多文化が共生するバンクーバーならではの取り組みを私たちも目指したいと思っています」(塚本さん)



オープニングセレモニーで挨拶をする、在バンクーバー日本国総領事代理・内田晃首席領事 (Photo by Miyuki Nakamura)



多くの家族連れでにぎわったチルドレンズテント。カブト折り、あやとり、けん玉、折り紙などたくさんのアクティビティを用意



ひそかに人気の俳句ワークショップ。英語の俳句もなかなか奥深い



バンクーバー日系ガーデナーズ協会では日本式庭園を紹介



酒テイストの様子。試飲の他、日本酒の基礎知識や食べ物との合わせ方のトークタイムも



内田晃首席領事(左)とジャパンフェア実行委員長の塚本隆志さん (Photo by Miyuki Nakamura)



着物姿の女性が会場に花を添える (Photo by Miyuki Nakamura)



フードベンダーはどこも大入り。暖かな日差しの中くつろぐ姿が



いつも人気があるたこ焼き (Photo by Miyuki Nakamura)